

浦戸諸島無人島の防潮堤災害復旧について

浦戸諸島の鷺島、大森島、漆島、馬の背島の4つの無人島における海岸堤防（防潮堤）の災害復旧については、地元住民、市議会、市の連名により必要最低限の復旧の実施について国に働きかけるよう県議会議長あて請願書を提出していたところであるが、4月14日、「災害復旧予算で土砂流出等を防止する必要最低限の対策を認める」という内容の連絡が、東北農政局経由で農林水産省から宮城県農林水産部にあったことが、本市あて伝えられた。

今後については、宮城県が土砂流出等を防止する必要最低限の対策に向けた調査設計を進め、見直し対応をしていくこととなる。

1. 防潮堤災害復旧にかかる請願書に関する経過

- | | |
|------------|--|
| 平成26年2月5日 | 浦戸地区の防潮堤整備に関する説明会の席上、浦戸地区の住民及び漁業関係者から、養殖漁場の確保、景観保持等の観点から無人島についても必要最低限の補修等の災害復旧を求める意見が出される。 |
| 平成26年2月25日 | 塩竈市浦戸振興推進協議会、県漁協浦戸支所運営委員長、同東部支所運営委員長の連名で、市長及び市議会議長あて、必要最低限の災害復旧を施設管理者である宮城県に働きかけてほしい旨の要望書が提出される。 |
| 平成26年2月27日 | 県議会議長あて、市長、市議会議長、上記浦戸3団体の連名で、無人島の土砂流出等防止対策に関して、政府及び国会に対する意見書の提出を求める請願書を提出。 |
| 平成26年3月20日 | 宮城県議会2月定例会において請願内容について審議、3月20日、県議会から国への意見書が可決され、同日付けで意見書が提出された。 |
| 平成26年4月14日 | 東北農政局から宮城県農林水産部あて、「災害復旧予算で土砂流出等を防止する必要最低限の対策を認める」旨の連絡があった。
塩竈市に対しては県農林水産部から電話連絡があった。 |

2. 土地所有者の意向調査の状況

平成26年3月末までに無人島の農地にかかる土地所有者11名に対する意向調査を終了。
11名中1名（2か所所有）が時期は未定だが営農再開の意思あり。他10名については自作については困難との意向であった。この結果については県に報告しており、今後の検討の際の参考とされる。